

税金 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 商品¥80,000を仕入れ、代金は¥8,000の消費税とともに小切手を振り出して支払った。消費税の処理方法は、税抜方式を採用している。
2. 1.の商品を¥100,000で販売し、代金は¥10,000の消費税とともに現金で受け取った。消費税の処理方法は、税抜方式を採用している。
3. 決算にあたり、1.および2.より、消費税の納付額を計算し確定した。
4. 3.で確定した消費税の納付額を、小切手を振り出して納付した。
5. 商品(本体価格¥150,000)を仕入れ、10%の消費税を含めて代金は掛けとした。なお、消費税については税抜方式で記帳する。
6. 商品(本体価格¥200,000)を売り上げ、10%の消費税を含めて代金は掛けとした。なお、消費税については税抜方式で記帳する。
7. 商品¥400,000をクレジット払いの条件で顧客に販売し、信販会社へのクレジット手数料(販売代金の5%)を販売時に認識した。なお、消費税の税率は販売代金に対して10%とし、税抜方式で処理するが、クレジット手数料には消費税は課税されない。
8. 福島商事から、商品¥1,000,000と研究開発専用で使用する測定機器備品¥500,000を、翌月末払いの条件で購入した。これらに対する消費税の税率は10%であり、取引は税抜方式により記帳する。
9. 決算にあたり、消費税の納付額あるいは還付額を計算し確定する。当社は税抜方式を採用しており、期末における仮払消費税勘定残高は¥240,000、仮受消費税勘定残高は¥208,000である。
10. 決算にあたり、納付すべき消費税の額を算定した。なお、本年度の消費税の仮払分は¥336,000、仮受分は¥484,000であり、消費税の記帳は税抜方式により行っている。

税金 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕 入 仮払消費税	80,000 8,000	当座預金	88,000
2	現金	110,000	売上 仮受消費税	100,000 10,000
3	仮受消費税	10,000	仮払消費税 未払消費税	8,000 2,000
4	未払消費税	2,000	当座預金	2,000
5	仕 入 仮払消費税	150,000 15,000	買掛金	165,000
6	売掛金	220,000	売上 仮受消費税	200,000 20,000
7	クレジット売掛金 支払手数料	420,000 20,000	売上 仮受消費税	400,000 40,000
8	仕 入 研究開発費 仮払消費税	1,000,000 500,000 150,000	買掛金 未払金	1,100,000 550,000
9	仮受消費税 未収還付消費税	208,000 32,000	仮払消費税	240,000
10	仮受消費税	484,000	仮払消費税 未払消費税	336,000 148,000

【解説】

7. 仮受消費税； $¥400,000 \times 10\% = ¥40,000$
 支払手数料； $¥400,000 \times 5\% = ¥20,000$
 クレジット売掛金； $(¥400,000 + ¥40,000) - ¥20,000 = ¥420,000$